

## 2 専門科目

### 2021年度以降入学生用

経済学部では、2021年度から将来の進路などの学生のニーズを踏まえ、これまでの「2コース制」に替えて、経済学・経営学・会計学の3つの学問領域を軸に「コミュニティ」「グローバル」「データサイエンス」の3つの学びの視点に応じた7つの履修モデルを設定しています。

学生の皆さんは、この7つの履修モデルのうち将来を見据えて自分に合った履修モデルを選択して履修登録を行い、体系的・計画的に学修するようにしてください。

なお、具体的な履修方法についてはオリエンテーション等で説明します。

### 必修科目

経済学部の専門科目には必修科目となる「コア科目（核となる科目）」と呼ばれる「フレッシュパーソンゼミⅠ・Ⅱ」、「経済学概論Ⅰ・Ⅱ」、「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」、「プレゼミⅠ・Ⅱ」、「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」、「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」、「実践経済学Ⅰ・Ⅱ」、「専門ゼミ1」及び「専門ゼミ2（卒業論文を含む）」が指定されています。

1年次の必修科目<sup>※1</sup>は、少人数クラス制による『経済学概論Ⅰ・Ⅱ』と『フレッシュパーソンゼミⅠ・Ⅱ』等です。『経済学概論Ⅰ・Ⅱ』は、共通のシラバス<sup>※2</sup>と教科書のもとで、経済に対する関心を深め、経済学の基本的な考え方を新入生に理解してもらうために設けたコア科目です。また、『フレッシュパーソンゼミⅠ・Ⅱ』では、指導教員に授業等に関する各種の相談や、各自の将来の進路についてのアドバイスを受けられます。

2年次は、『プレゼミⅠ・Ⅱ』、『ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』、『マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』及び『実践経済学Ⅰ・Ⅱ』が必修科目となります。これらの科目は経済学全体の基礎理論として位置づけられ、経済学部の専門教育に必要な最低限の基礎学力を身につけてもらうために設けたコア科目です。

3、4年次は、『専門ゼミ』が必修のコア科目として設けられています。

以上のコア科目のほか、基礎科目が配置され、必修科目と発展科目をつなぐ基幹的役割を果たしています。科目によっては、基礎科目の内容が理解できないと、発展科目を学ぶにくい専門科目もあります。各履修モデルについての説明をよく読んで、自分の進路に合ったモデルを選択してください。みなさんの履修計画と進路・職業選択のよき道しるべになれば、と考えています。

※1 必修科目の場合、例えば『経済学概論Ⅰ』を履修しないと『経済学概論Ⅱ』は履修できません。ただし、『経済学概論Ⅱ』を履修する際に『経済学概論Ⅰ』（再履修）を履修登録することによって、当該学期中の履修を認めます。

※2 詳細は「シラバス」を参照してください。→P.35

## 7つの履修モデルの概要

履修モデル	項目	専門領域	学びの視点	履修の目的	将来の進路
Cエコモデル	経済学	経済学	コミュニティ経済 (地域経済など)	地域や組織で活躍できる よう経済学を幅広く学ぶ	地域の金融機関 公務員（市役所） 警察・消防 など
Gエコモデル			グローバル経済 (国際経済など)	グローバル社会で活躍で きる国際的な視野と経済 感覚を磨く	一般企業 外資系企業 貿易関連企業 など
Dエコモデル			データサイエンス (データ処理・活用)	高度情報化社会を生き抜 くためのデータ処理スキ ルを身につける	一般企業 SE 大学院進学 など
Cビズモデル	経営学	経営学	コミュニティ経営 (地域や組織のマネー ジメントなど)	地域や組織で活躍できる よう経営学を幅広く学ぶ	一般企業・NPO 起業・会社経営 営業・企画 など
Gビズモデル			グローバル経営 (国際ビジネスなど)	グローバル社会で活躍で きる国際的な視野と経営 感覚を磨く	一般企業 グローバル企業 大学院進学 など
Dビズモデル			データサイエンス (データマネジメントな ど)	高度情報化社会における 経営データの処理スキ ルを身につける	一般企業 コンサルタント 人事・購買 など
アクトモデル	会計学	会計スキル (簿記・財務など)	日商簿記検定2級以上の 資格を取得し会計専門職 を目指す	一般企業（経理） 公認会計士・税理士等の 職業会計人 など	

## 2015～2020年度入学生用

専門科目では、「経済学」分野を基本に、「経営学」・「会計学」といった分野の科目も開設されています。経済学は、資源の希少性と選択ということのポイントに、豊かな生活と公平な社会を実現するためにどのように取り組んでいけばよいかを考える学問です。

この各専門分野が飛躍的に発展し、複雑な知識体系になっていることを踏まえ、生産・流通・消費といった経済の仕組みの中で、個人や集団（経済主体）の行動を学び、しかも体系的に専門的知識が身につくように、2つのコースを設けました。

### 必修科目

経済学の専門科目には、**コース別必修科目**となる「**コア科目（核となる科目）**」と呼ばれる『経済学概論Ⅰ・Ⅱ』、『ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』、『マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』、『簿記論Ⅰ-a・Ⅰ-b』、『経営学総論Ⅰ・Ⅱ』、『実践経済学Ⅰ・Ⅱ』、『簿記特別演習Ⅱ』及び『フレッシュパーソンゼミ』等が指定されています。

1年次の必修科目<sup>※1</sup>は、少人数クラス制による『経済学概論Ⅰ・Ⅱ』と『フレッシュパーソンゼミ』です。『経済学概論Ⅰ・Ⅱ』は、共通のシラバス<sup>※2</sup>と教科書のもとで、経済に対する関心を深め、経済学の基本的な考え方を新入生に理解してもらうために設けたコア科目です。また、『フレッシュパーソンゼミ』では、指導教員に授業等に関する各種の相談や、各自の将来の進路についてのアドバイスを受けられます。この他、グローバル経営コース希望者は『簿記論Ⅰ-a・Ⅰ-b』『経営学総論Ⅰ・Ⅱ』も必修科目として開講されます。

2年次は、『プレゼミ』が必修科目となります。また、『ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』、『マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ』及び『実践経済学Ⅰ・Ⅱ』がグローバル経済コースの学生にとって必修科目となり、『簿記特別演習Ⅱ』がグローバル経営コースの必修科目となります。これらの科目は経済学全体の基礎理論として位置づけられ、経済学部専門教育に必要な最低限の基礎学力を身につけてもらうために設けたコア科目です。

3、4年次は、『専門ゼミ』が必修のコア科目として設けられています。

さらに、各コースには、コース基礎科目が配置され、必修のコア科目とコース発展科目（各コース専門科目）をつなぐ基幹的役割を果たしています。コースの科目によっては、基礎科目の内容が理解できないと、発展科目を学ぶにくい専門科目もあります。各コース説明をよく読んで、コース選択をしてください。経済学部では、グローバル経済コース、グローバル経営コースという2つのコースを用意し、各コースで学修の目的・方向を定めています。2コースが、現代の経済学あるいはそれと関連する経済事象の解明に役立ち、みなさんの履修計画と進路・職業選択のよき道しるべになれば、と考えています。

次頁からはそれぞれ2つのコースについて、学びのスタイルを説明します。

※1 必修科目の場合、例えば『経済学概論Ⅰ』を履修しないと『経済学概論Ⅱ』は履修できません。ただし、『経済学概論Ⅱ』を履修する際に『経済学概論Ⅰ』（再履修）を履修登録することによって、当該学期中の履修を認めます。

※2 詳細は「シラバス」を参照してください。→P.35

## グローバル経済コースとは

標準的な経済学を幅広く学び、世界が一体となるグローバル時代に見合った国際的視野と感覚を身につけ、国際社会で活躍できる人材を育てるとともに、グローバル時代だからこそ、脚光を浴びている地域の諸問題を解決できる人材を育成します。

### 学習プラン

ヒト、モノ、カネ、情報が自由に国境を越えて移動する現代の国際社会を生き抜くために必要な知識やスキルが学べます。モノ、カネの取引や取引ルールの国際化の側面を明示的に分析する国際経済学や国際金融論、世界の各地域のもつ歴史や経済社会の固有性を学ぶ経済史科目や各国経済論、実践的な海外研修などが配置されています。また、グローバル時代だからこそ脚光を浴びている身近な地域の諸問題を解決するための知識を学ぶ科目群も配置されています。

### 何が身につくのか

経済のグローバル化が進む中で国際競争・協力などの諸問題に興味のある学生、グローバル時代の新しい課題や事業に関心のある学生、世界各地域の経済に関心のある学生は、このコースを通じて国際感覚と、国際ビジネスパーソンとして必須な国際経済・開発に係る政策評価の知識やスキル、語学力を身につけることができるでしょう。また、地域の課題を発見し、問題の原因を分析し、その解決に貢献できる人材としての課題探究能力を身につけることを目指しています。

### 進路

このコースは、一般の民間企業を中心としながらも、進路を多角的に考える学生や、グローバルな視野と総合的な政策分析・提言能力が求められる国際公務員やIT企業、専門商社、NGO、また、地域の課題に応える地方公務員や福祉、環境関連の企業へ就職を希望する学生を想定しています。

## グローバル経済コースの履修モデル

1年	経済と経済学に触れる	2年	国際社会をめざす学修	3年	経済知識の徹底	4年	オールラウンドな応用力養成
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●⇨コア科目 フレッシュパーソンゼミ 経済学概論</li> <li>●⇨専門基礎・発展科目 統計学入門 経済・経営数学入門 情報処理入門 日本経済論 経済学史 東洋経済史 西洋経済史 日本経済史</li> <li>●⇨インターンシップ</li> <li>●⇨ボランティア活動</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●⇨プレゼミ (インターンシップ等)</li> <li>●⇨海外への短期留学 海外研修 ビジネス英語</li> <li>●⇨コア科目・専門科目 ミクロ経済学 マクロ経済学 実践経済学 アメリカ経済論 ヨーロッパ経済論 サービス経済論 公務員講座 ファイナンシャル・プランナー講座</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●⇨専門科目・演習 専門ゼミ1 国際経済学 国際金融論 開発経済論 財政学 地域研究(浦安学)</li> <li>●⇨インターンシップ</li> <li>●⇨ボランティア活動</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●⇨卒業研究</li> <li>●⇨専門科目・演習 専門ゼミ2 中級ミクロ経済学 中級マクロ経済学 計量経済学 経済変動論 経済政策論</li> </ul>
	○コース担当教員による個別指導。学生の適性・希望を考慮しながら履修計画をアドバイスする。		○国際舞台で活躍したい学生を募る。実際に国際社会での体験を積み重ね、国際経済への認識を深める。		○少人数制によるテーマ別のゼミ指導。企業からの講師の招聘などによるビジネススキルの徹底。希望者には企業等での研修を設定している。		○国家公務員、ビジネス通訳等の専門職のほか、商社においての海外勤務や、海外ボランティアとして国際舞台で活躍する道もある。

**注意** 上記の表は、履修モデルを示したものです。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等によく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

## グローバル経営コースとは

経済活動の中心を担う「会社」を対象として、企業間競争の時代を生き抜いていくために多様な考え方を養い、ビジネス社会で求められる(企業)経営の在り方を学ぶのがグローバル経営コースです。

### 学習プラン

このコースは、主に民間企業での活躍を目指す学生向けに開設されています。グローバル経営コースの基本目標は、企業の収益性、安全性、成長性、社会的責任(CSR)、経営の組織、管理、戦略、コンプライアンス(法令順守)及び税制といった、企業を取り巻く経営上の諸問題をとらえ、これに対処する立案力や提言力を備えた人材を育成することです。そのため、1年次から経営に関する包括的な知識を身につける必要があります。目標達成の第一歩として簿記論及び経営学総論が必修となっています。

経営系、会計系および税法のすべての科目に簿記の知識は有用で、さらに、経営管理、組織、戦略、財務、証券・マーケティングなどのより専門的なマネジメント技術を修得します。

### 何が身につくのか

ビジネスマンのコミュニケーション能力として不可欠な「三種の神器」といわれる「英語」「コンピュータ」「簿記・会計」は、決められたツールにしたがい、正しく理解していかなければ決して身につかない「知識」ないし「ツール」です。そのため、一通りの理解を得るには、それ相応の「時間」と「努力」が求められます。しかし、いったん身につければ「三つ子の魂、百まで」のたとえどおり、一生涯にわたってその知識を活用することができるでしょう。

### 進路

ビジネスパーソンとして企業で活躍したい学生、コンサルティング業、サービス業、公認会計士、税理士、中小企業診断士などの専門職を目指す学生、国税専門官のような公務員、MBAコース、会計専門職大学院への進学を目指す学生にとっては、このコースで学んだことが大いに役立つでしょう。

## グローバル経営コースの履修モデル

1年	経済と経営の違いを学ぶ	2年	企業経営とはなにか	3年	企業経営の実際	4年	企業のケース・スタディ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●⇒コア科目 フレッシュパーソンゼミ 経済学概論 簿記論Ⅰ 経営学総論</li> <li>●⇒専門基礎・発展科目 簿記特別演習Ⅰ 統計学入門 経済・経営数学入門 情報処理入門 経営史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●⇒プレゼミ (インターンシップ等)</li> <li>●⇒海外への短期留学 海外研修 ビジネス英語</li> <li>●⇒コア科目・専門科目 簿記特別演習Ⅱ 統計学 簿記論Ⅱ・Ⅲ 工業簿記 会計学総論 経営管理論 経営組織論 財務管理論 税法総論 ファイナンシャル・プランナー講座 会社法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●⇒専門科目・演習 専門ゼミⅠ 財務会計論 管理会計論 税務会計論 原価計算 マーケティング論 生産管理論 人的資源管理論 証券論 金融論 地域研究(浦安学) 企業法(ビジネス法)</li> <li>●⇒インターンシップ</li> <li>●⇒ボランティア活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●⇒卒業研究</li> <li>●⇒専門科目・演習 専門ゼミⅡ 国際会計論 国際経営学 社会関連会計 監査論</li> </ul>			

- 2年生以降の専門科目を学ぶための簿記・会計・経営の基礎を修得する。
- グローバル・スタンダード(世界標準)としてのビジネスコミュニケーションを学ぶ。経営の内容を理解する。
- 少数制によるテーマ別のゼミ指導。企業の現場体験・見学を通じて実社会に触れ、専門科目の応用性を高める。希望者には、企業・会計事務所等での研修を設定している。
- ケース・スタディを研究しながら卒業論文を執筆する。同時に資格取得も目指す。

**注意** 上記の表は、履修モデルを示したものです。卒業要件単位数及び履修方法の詳細については、「教育課程表」等によく確認し、間違いのないよう必要な単位を修得してください。

経済学部では、社会における現実と知識を結びつけて経済事象を理解できるよう、2年次から将来の目的に応じ2つのコースに分かれて学ぶこととなります。

コース選択に当たっては、各コースの概要及び教育課程表等を基に慎重に行うのはもちろんのこと、所定の時期に登録を完了しない場合、当該年度の履修は認められませんので注意してください。

コース名	狙い・進路等	関連資格等
グローバル経済コース	<p>グローバル時代のダイナミックな経済を体験し、国際視野と国際感覚を身につけます。海外ボランティアや国際公務員として国際舞台で活躍することを想定しています。また、グローバル時代だからこそ注目される身近な地域の諸問題を解決できる地域人材として活躍するための知識やスキルが身につきます。</p>	<p>経済学検定試験 公務員試験 通関士 総合旅行業務取扱管理者 秘書技能検定 AIBA認定貿易アドバイザー 福祉住環境コーディネーター ビジネス能力検定 等</p>
グローバル経営コース	<p>企業間競争の時代を生き抜いていくために、ビジネス社会にかかわる理論と実践を学びます。現代のソロバンである簿記・会計を習得し、ビジネスに必要な専門的マネジメント技術を身につけます。公認会計士・税理士・中小企業診断士などのスペシャリストとして独立開業したり、企業等で活躍するのに役立ちます。専門職大学院やビジネススクールへの進学も期待されます。</p>	<p>簿記検定（日商） 公認会計士 税理士 国税専門官 中小企業診断士 販売士検定 証券アナリスト ファイナンシャル・プランニング技能士 ビジネス能力検定 等</p>

## [1] コース登録

### 2015～2020年度入学生

各コースには、開講される授業科目の性質上、定員が定められています。  
コースの登録については、フレッシュパーソンゼミの授業の中で行います。

### 定員

コース名	定員		備考
	2017～2020年度入学生	2015・2016年度入学生	
グローバル経済コース	200名	250名	定員の数は目安とし、3年次編入学生を除きます。
グローバル経営コース	100名	150名	
計	300名	400名	

## [2] コース変更

原則として、コース登録後の変更は認められません。ただし、変更の事由、当該コースの定員、成績及び単位の修得状況等を勘案し、教務委員及び学科主任がやむを得ないと判断した場合に許可される場合があります。

## 3 卒業論文

『専門ゼミ2（卒業論文を含む。）』における卒業論文とは、授業担当教員から指導を受け、学部の教科に関する修業を集約・発展させて論文を作成することをいいます。

論文の執筆・提出要領等は、授業担当教員から直接の指導があります。